

研修名 (12 フォント)	令和5年度再就職支援セミナー 基礎プラチナコース				
領域	ナースセンター事業委員会	会場	看護研修センター中研修室	受講料	なし
対象	40歳以上の未就業者看護職の方 当日参加数 9名				
日時	令和5年8月21日(月曜日) 9:25~12:00				
ねらい (目標)	<p>目的: 看護現場で培ってきた豊富な経験・知識・技術を持つ看護職が人生100年時代を生き生きと自分のライフスタイルに合った仕事に携われるように支援し、働き方を模索できる</p> <p>目標: ①自分のライフスタイルに合った働き方ができる情報を得る ②自らのセカンドライフを考える機会となる</p>				
講師	<p>1. セカンドライフに備える生活設計 玉木尚子社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 玉木 尚子</p> <p>2. プラチナナースに期待されること 介護の現場から 特別養護老人ホーム 花見の里 看護課長 小林 裕子 訪問看護の現場から 新潟県看護協会 訪問看護推進課 竹内 則子 病院の現場から 新潟白根総合病院 看護副部長 小松 静子</p> <p>3. 情報交換 フリートーク</p>				
内容・方法	1. オリエンテーション 2. セカンドライフに備える生活設計 3. プラチナナースに期待されること~各現場から~ 4. 情報交換・まとめ				
結果・評価 (受講者の意見感想含む)	<p>アンケート結果(別紙)を評価方法として、目標達成度を評価した。</p> <p>目標① 実践に役立つ内容である 4名 まあまあ役立つ 4名</p> <p>目標② 受講後の変化(複数回答)再就職への選択肢や視野が広がった 7名、再就職への意欲が高まった 3名</p> <p>① ②の結果より、今回の研修目標はほぼ達成したと考える。</p> <p>年金の話では、配布資料と講師の提示するページにズレがあった。情報交換会では参加者を二つのグループに分け、少人数で行った。アンケート結果からは、それぞれの背景が違う中、自分自身の思いを述べたり他者の話を聞いたりすることは、それ自体が再就職への後押しになるものと分かった。時間配分については20分間では不足であった。</p>				
企画の評価	各施設からの話は、体験談も交えながら具体的な内容であったため、受講者も働き方のイメージが付きやすかったと思う。情報交換会では講師の方にも参加していただき、少人数のグループであったため、話しやすくそれぞれが「自分の思い」について生き活きと語っていた。時間をもう少し長くした方が良かった。				
課題	年金の話は範囲が広く、内容もやや難しかった。今回の参加者は40代の若い方が多かったため、雇用保険や扶養に関する情報に絞った内容の方が良かった。各施設からの報告については、実際の現場の声を聞くことで看護師として働くことのイメージが持ちやすく視野を広げることに繋がり、自らの今後について考えるきっかけとなるという参加者の意見を企画に活かしていきたい。				
担当者	ナースセンター事業委員会				